

英語教育専攻修士論文作成マニュアル

I. ページ設定

- | | |
|----------------|-------------------------------------|
| 1. 1 ページの文字と字数 | 1 行 40 字×30 行 |
| 英文の場合 | 1 行 66 字×27 行 |
| 2. 文字の大きさ文字 | MS 明朝体 フォントサイズ 11 |
| 英文の場合 | Times New Roman フォントサイズ 12 などを使用 |
| 3. 余白の大きさ | 余白 上 35 下 30 左 35 右 25 |
| 4. ヘッダー | 不要 |
| 5. フッター | フッター（頁番号）はセンタリングして、
紙の下の端から 10mm |
| 6. 注について | 章末もしくは頁脚注 |
| 英文の場合 | 巻末もしくは頁脚注 |

II. 論文の構成と注意事項

論文は、表紙→目次→序論→本論→結論→参考文献の順にすること

1. 表紙には題名（副題）、学籍番号、氏名、指導教員名等、別紙書式にしたがって作成すること。
2. 目次はそれぞれの最初のページ数を記入すること。算用数字で 1 から開始のこと。
なおページ番号をふる範囲は本論から参考文献までである。
3. 本論は章をもって構成し、章ごとにテーマをつけること。
4. 結論は序論と本論で検証したまとめであり、自分の論旨の総括であること。
5. 参考文献は、別紙の形式にしたがって作成すること。

III. 本文の作成について

書式上の留意点

1. 各章節の冒頭部分は全角 1 文字分のスペースを入れること。
2. 邦文の場合、コンマと読点どちらも使用可。

IV. 注の作成について

本文中で十分な説明が出来ない場合や補足的な説明が必要な場合、特定の用語を使用した場合には注をつけること。

※他の文献や資料から文章、語句、データ、図、表などを引用した場合、注にせずに、本文中に「著者・編者名（出版年）」の形で記す。() の中に書く場合は、「(著者・編者名出版年)」の形で書く。必要と思われる場合にはページ数も書く。頁が一枚の場合には p.xx, 複数ページにわたる場合は pp.xx-xx という形で記す。必ず参考文献に十分な情報とともに挙げる。基本的に、原著者が発表した形のものを掲載すること。何らかの理由で改変した場合にはその旨明示すること。

V. 参考文献について

1. 邦文文献と海外出版物の文献を分けて列挙すること。
2. 邦文文献は著者名のあいうえお順とし、海外出版物の文献はアルファベット順とする。

邦文：石川慎一郎（2008）『英語コーパスと言語教育』大修館書店

根岸雅史（2008）「CEFR リスニングレベルの決定要因を探る」金谷憲教授還暦記念論文集刊行委員会編『英語教育・英語学習研究 現場型リサーチと実践へのアプローチ』（pp.226-235）桐原書店

金子朝子（2010）「ライティング活動における教師の文法的なフィードバックの効用：過去形の習得の場合」『関東甲信越英語教育学会誌』第24号, pp. 1-12.

欧文：

Schmitt, N. (2010). *Researching vocabulary: A vocabulary research manual*. Basingstoke, UK: Palgrave macmillan.

Swan, M. (1997). The influence of the mother tongue on second language vocabulary acquisition and use. In N. Schmitt & M. McCarthy (Eds.), *Vocabulary: Description, acquisition and pedagogy*. (pp.156-180). Cambridge: Cambridge University Press.

De Groot, A.M.B. (2006). Effects of stimulus characteristics and background music on foreign language vocabulary learning and forgetting. *Language Learning*, 56, 463-506.

新聞記事

“Ex Maharaja poses problem.” *Statesman*, Calcutta, Nov. 13, 1960, p.1.

邦文文献の翻訳

Sawamura, Yoshihide. *Kokukijiko no Jittai* (1984)(The Actual Situation of Flight Accidents, my trans.) Nippon Soushousha, Tokyo.

著者名がない場合は書名

Current Biography (1976) Wilson, New York.

ただし、翻訳より原著を参照することが望ましいことは言うまでもない。

3. 英文の場合は、*The APA Publication Manual* (6th edition), *The MLA Style Manual and Guide to Scholarly Publishing* (7th edition)などに則り、全編を統一する。

VI. その他の注意

1. 剽窃（他人の文章や説を盗み、自分のものとして発表すること）は絶対にしてはならない。引用は出典を明らかにして明示すること。
2. 個々に明示していない事項については指導教員と相談して指導を受けること。

修士論文表紙の書式

表紙

麗澤大学大学院
平成 29 年度 修 士 論 文

論 文 題 目

〇〇〇〇研究科 〇〇〇〇〇専攻
学籍番号 0000000000 氏 名
指 導 教 員 氏 名

— 目次
— 本 文
— 付 図 ・ 付 表
— 裏 表 紙

表紙は、上記の書式に従って作成してください。
英文の場合は、年度は西暦（2017）で記入し、横書きのこと

「要旨」の表紙

(テンプレート利用可)

麗澤大学大学院
平成 29 年度 修 士 論 文

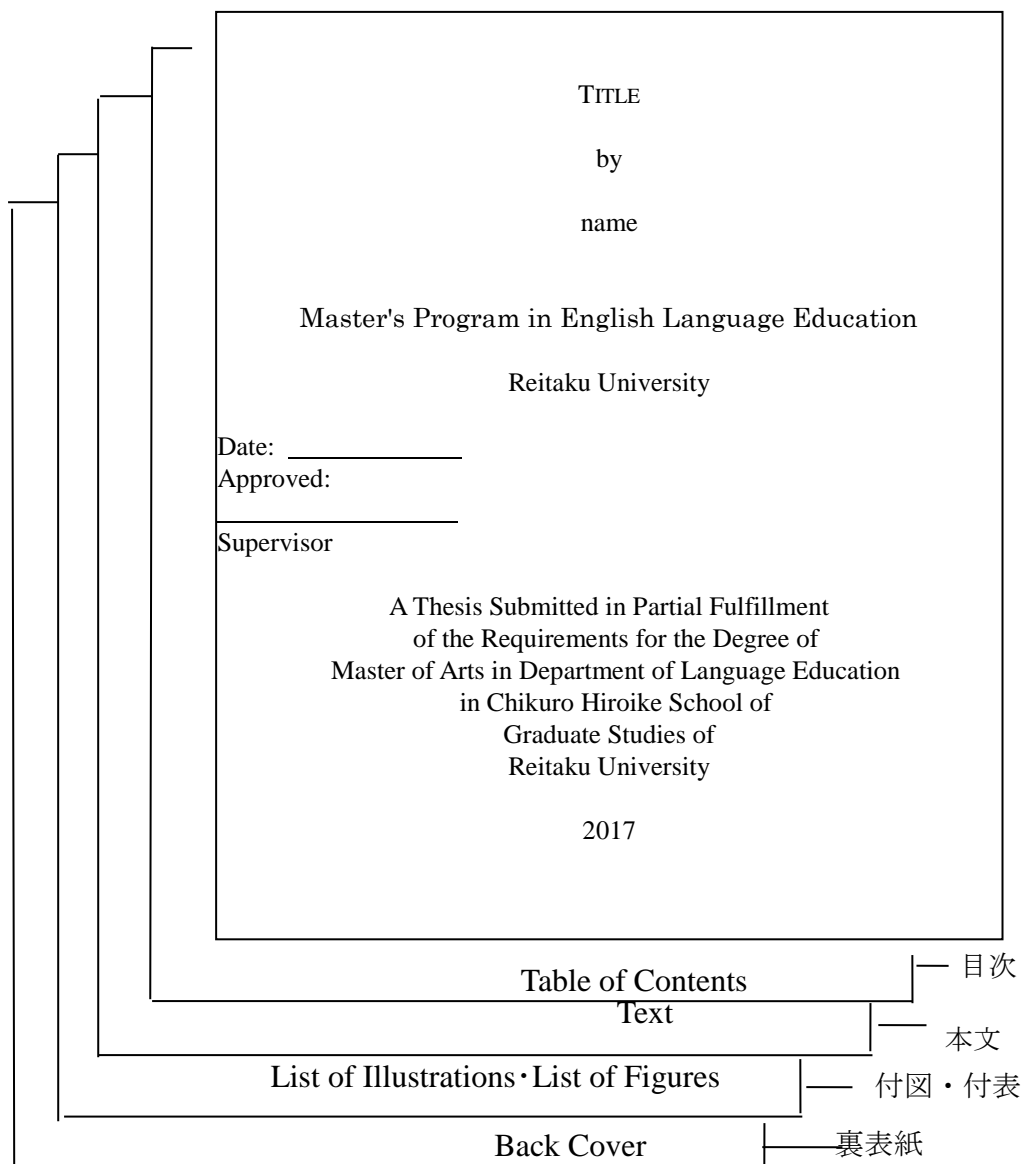
論 文 題 目
(論文要旨)

〇〇〇〇研究科 〇〇〇〇〇専攻

学籍番号 0000000000 氏 名
指 導 教 員 氏 名

修士論文表紙の書式

Title Page



Title Page of the abstract

Chikuro Hiroike School of Graduate Studies
Reitaku University
Master's Thesis in 2017

Thesis Title
(Thesis Abstract)

Student number: 0000000000 (name)
Thesis supervisor: (name)

Master's Program in English Language Education

おびふう 帯封

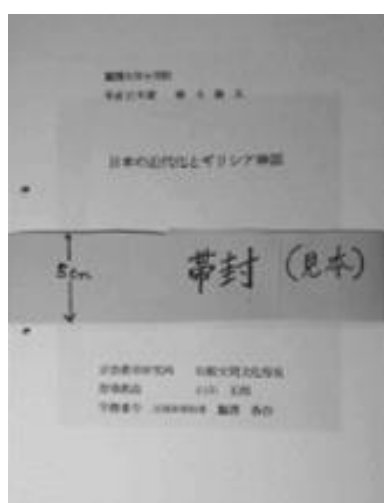
(正本と副本の全てに帯封を掛けてください)

論文を事務室に提出する際は、下の写真のように、中央を帯のように巻いてください。

帯封は、事務室で整理する時や印刷所で製本する際、論文が紛れないようにするため必要です。

「帯」は反故の紙を用いて、幅5センチ・長さ40センチ程度の「帯」を作り、重なった部分を糊付けする。一重巻きで可。帯の色は自由。帯に文字を記入する必要はない。

(下の見本には、綴じ穴があるが、穴を開けずに事務室に提出してください。)



(a) 「帯封」の見本



(b) 斜めから見た論文の「帯封」